

## 別紙3 (様式第8号添付用)

## 提案型協働事業報告書

1 該当する 町の施策方針	「22のめざすべきまちの姿」町の施策方針   基本目標3 ふれあいのあるまち・誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち・地域活動が活発に行われているまち 「61の施策方針」地域活動を応援する・世代間交流・地域間交流を進める・地域活動の担い手を育成する。
2 解決へ向けて取組んだ地域課題	私たち独身者は、被災地への思いや復興への関心は高いものの、自ら求めて復興ボランティアに参加する行動意識は乏しいと言わざるを得ない。東北に出向き現地でのボランティア活動の体験を通して、地域ボランティアへの参加意識を高める。
3 事業の内容等  (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他	(1) 事業内容と方法 ①仮設住宅退去宅の掃除、農業支援(牧場の石の撤去) ②石巻市立大川小学校等被災地視察③被災地域住民との交流(仮設住宅住居者や農業被災者) ④町内事業所間の交流 ⑤独身男女の親睦と交流を図る。 (2) 岩手県大船渡市、宮城県陸前高田市・石巻市・南三陸町 (3) 町内事業所に勤務する独身者及びその友達31名と町内事業所・教育委員会のサポーター2名の計33名 (4) 行政; 町内事業所訪問 T-o-x; メール (5) その他 独身者の経済的負担軽減を図るため、0泊3日の日程とし、深夜貸切バスを利用する。
4 事業実施により得られた効果	被災地の現況を体感・体験することにより、震災への意識が高まった。復興作業を通して被災地域と交流が図られ、ボランティアの必要性も認識できた。体験したことを職場や家庭、子どもたちに伝えたことにより、防災に対して町民や武豊町の子供たちの意識が高まった。参加した学校職員においては、9月2日の始業式日にボランティア体験や被災地の現況をプレゼンテーションしたことにより、子供たちに命の大切さ、尊さについて訴えることができた。また、震災の復興の意義が理解でき、武豊町が大震災等の有事の際に独身者が誘い合って社会貢献できる独身者のネットワークを構築することにつながった。
6 次年度以降の事業展開	社会や地域活動に消極的な独身者が、ボランティア活動をとおして被災地域との交流が図られ、独身者としてなすべき役割が自覚でき、社会参加や社会貢献意識の高揚につながるなど、社会参加への契機となった。併せて社会参加意識を醸成する本会の目的を達成するには、きっかけを提供することが必要であり、今後も継続的に活動し、時間をかけた取り組みが求められる。
7 その他	※別添参加者アンケート集計結果参照。(別紙1) 参加団体「武豊町立公立小中学校15名」「武豊町役場4名」「株式会社日油4名」「株式会社JFEスチール7名」「株式会社旭硝子3名」 計33名

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。別紙1 (様式第1・様式第5添付用)